

青葉区歯科医師会

令和 3. 4 年度 役員就任・退任挨拶



就任挨拶

会長

鳥居 浩一郎



青葉区歯科医師会会長を拝命いたしました鳥居浩一郎です。順番がまわってきました。永らく本会にお世話になって、未だご恩返しできる域に達していませんが、この度謹んで会長職をお受けしたいと思います。

6年前藤尾執行部で専務理事に就任して以来のテーマ、4層構造後の新しい青葉区歯科医師会の在り方について模索してきました。当時、羅針盤のない航海に例え理事会を中心に、懸命に方向性を探る毎日でした。緑区離脱に伴う会館問題に始まりましたが、結果として最良の成果を得ることができたと思います。しかしこれは、先輩方が脈々と紡いできた人脈、信頼関係あつてのこと、いわば遺産を使っていたわけです。ただ私は、ここに一筋の光を見出しました。今、私達に必要なことは原点に返ること、先輩方が作ってくださった細やかな会則、全会員でことに当たりなさいよ、会員同士の親睦を深めなさいよ、残してくださった得別会計、会館問題と有事の際の財源、昨年全員に等しく使わせていただきました。

原点、それは共同体として皆で知恵を出し力を合わせ困っている会員のため、おたがいのため事にあたる。

皆様いかがでしょうか。青葉区歯科医師会の立会精神と伝統は未来永劫不滅と思うのですが。私はそう信じています。

皆様、共に歩みましょう。皆様の医院、クリニックの繁栄のため。

副会長

藤下 義輝



皆様こんにちは、この度、鳥居会長のもと副会長を任命されました藤下義輝です。

思い起こすに平成 13 年、青葉区歯科医師会に入会させていただき2年は新人として青山広報理事のもと青葉広報の記事など書かせていただきましたが。それから二年後には福本会長の下で厚生理事に就任させていただき 3 期 6 年やらせていただきました。その後一期休ませていただいたのち、堀口会長から社保理事をお引き受けして、これも 4 期 8 年優秀な富岡先生の助けがなかったら務まらなかったと思います。

そして前期の山本会長にお仕えしての専務理事の職も本当にいろいろな先生方に助けていただきました。先生方に助けていただいたことで山本会長をお支え出来た事と思っています。そのちょっとした経験も皆様の少しでものお役に立てれば今度は先生方にお返しできればと任をお引き受けしました。どうぞよろしくお願いします。

副会長

槇 聖二



この度青葉区歯科医師会副会長の大役を務めさせて頂く事に成りました青葉台地区開業の槇聖二ですどうぞ宜しくお願い致します。

鳥居新会長からお話を頂いた時正直私には荷が重いとお断りさせて頂きました。しかしながら最終的には新会長の熱意に感服しお引き受けしようと決心致しました。暫くの間歯科医師会から離れておりました故、会の現況等わからない事も多く会員の皆さんにはご迷惑をお掛けする事も多々あろうかと思いますが自分なりに2年間会務の重責を全うしたいと思う所存で

ございます。

会員歴は長く 1987 年に緑区歯科医師会入会、入会後は公衆衛生委員の一員として微力ながらも会務に貢献したと自負しています。1994 年行政の分区に伴い青葉区歯科医師会が発足公衆衛生理事の任命を受け確か2期担当させて頂いたと記憶しています。その反動で少し会務から解放させて頂こうと思い今日に至ってしまいました。

その様なわけで新執行部の先生方をはじめ会員の先生方とも余り面識がないので少し気後

れ致しておりますが、会員の皆様のご理解を頂きながら精一杯努めさせて頂ければと思いますので宜しくお願い致します。

専務理事

酒向 毅



この度、専務理事を拝命しました。

青葉区歯科医師会会員のために会務が円滑に遂行されるよう、また鳥居会長はじめ各理事の先生の意向に沿った会の運営ができるように努力していく所存ですので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

歯科医師会には入会したものの、会の仕事、委員会の委員長、ましてや理事職など面倒で嫌だから当たり障りなく～と思っている方が多いことは承知しています。私もそうでした。しかし、いざ理事になってみるとなんだかわかりませんが結構面白

いのです！皆さん、歯医者だけやって生きていくのは人生もったいない！

この面白い世界へどうぞ遠慮なくご参加ください。手ぐすね引いてお待ちしております。

庶務理事

河井 里佳



この度、鳥居浩一郎会長先生よりご拝命頂きました、庶務理事の河井里佳です。

開業して丸 20 年になりますが、歯科医師会に入会させて頂いたのは約 2 年前の為、お話を頂いた時には、あまりに大きな役職の為、私には身分不相応では無いかと恐縮した次第です。しかし、引き受けさせて頂いたからには、今までの庶務理事の先生方々、そして前任の小笠原聡先生、菅原孝先生が構築されていらした歴史ある素晴らしい仕事をしっかりと受け継ぎ、このコロナ禍に負けず、青葉区歯科医師会を益々盛

り上げていけるように尽力して参ります。

また、諸先生方々には、私が庶務理事として至らぬ事等、様々なご意見がおありかと思いますが、その際は、どんどん遠慮なくご指摘して頂けますと幸いです。

それでは、どうぞよろしくお願い申し上げます。

社保理事

富岡 孝之



この度、薦木理事とともに社保理事に任命されました富岡孝之です。前期に引き続き今回で5期目となりますが、これまで以上に力を入れていきたい所存でございます。

我々歯科医師会員が歯科医師として人として社会に貢献するなどの行為、行動を起こすうえで、社保はその礎であろうかと思われます。

皆様方の力の源泉を守るためにも、会員の必要とする適切な時期に適切な情報発信を行うことはもちろん、突発的な事象にあらかじめ対処できるような情報を送り続けること、何かあった時に気軽に相談できる雰囲気醸し出すこと、これらが私に求められている責務であると思います。このことを肝に銘じて会務の遂行を行っていきたいと思います。

審査会では私が国保、社保委員の堀口先生が支払基金の審査員として在籍しておりますので、返戻等でわからない点等がございましたらお気軽にご相談ください。

至らないところが多々あるかとは思いますが、頑張っていきたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

社保理事

薦木 洋平



この度、社保の理事に任命されました薦木です。私の育った地、青葉区で開業してから8年が経ちました。こんな若僧を、理事に任命して頂き有難うございます。また、今まで会にはあまり参加して来なかったため、突然の事に狼狽しております。まずは、社保の仕事を学び、理事としての立場を理解し、会の空気感を感じていきたいと思います。そして、自分がどんな事であれば会に貢献できるかを考え、実行していきたいと思ひます。謹厳実直。2年間宜しくお願い致します。

会計・福祉理事

濱田 宣行



前期から引き続き 鳥居会長から会計・福祉理事に拝命されました濱田と申します。

コロナ渦に於いて、歯科医師会の事業の維持はなかなか難しいものでした。会員の為を考え、前山本会長の会費徴収¥〇の英断は、特別会計を切り崩すという今までに無い大きな局面を昨年は迎えました。今までの歴代会長がしっかり維持・確保してきたからこそ、今回の未曾有な局面も乗り越えられたのだと思っております。

そんな大事な歯科医師会の懐をまだまだ大事に守っていきたいと思います。これからも、至らないことも多いと思いますがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

学術理事

上妻 和幸



この度、学術部理事を三期目と継続就任を拝命いたしました。世相は一転して密を避けざるを得ない時代となりました。ほんの一年少し前までは考えられないことです。

それにより学術講演はもちろんのこと、歯科医師としての技術・知識の研鑽のあり方にも、大きな舵取りを切ることを求められています。

大局の流れを汲みつつも、地域歯科医師会として「学術」をどのように体現していくのか？私にとっては大きな難題となりそうです。会員の皆様のお知恵を拝借しつつ、尽力したいと思います。

厚生理事

村田 賢二



この度、鳥居新会長の下、厚生理事に就任させていただくことになりました村田賢二です。長く厚生委員にありましたが、今期はコロナの感染者数が減らない中、会員同士集い有意義な時間を過ごすことが難しいこととなっております微力ですが、世の中の動向も見ながら、できる範囲で厚生事業を通じて会員相互の親睦を図り、また健康管理の充実に貢献してまいり所存です。

右も左もわからない中で、なにかと至らぬ点多くご迷惑もおかけするかと思いますが、先生方のご協力を力に精一杯努めさせていただきます。ご指導ご鞭撻の程、どうか宜しくお願いいたします。

公衆衛生理事

中野 薫



今般、公衆衛生理事を拝命致しました中野と申します。昨年度まで公衆衛生委員会、学術委員会、税務医療管理委員会の委員として皆様の歯科医師会活動にご協力させて頂いておりました。

これからはこれまでと異なった形で会の活動に関わることとなります。会の活動の活性化に向けて「何ができるのか」、「どんなことで役立てるのか」を考えながら微力非才の身ではございますが、役割を果たしていければと考えています。宜しくお願い致します。

公衆衛生理事

前田 仁



この度、鳥居新会長の元、公衆衛生理事に任命されました前田仁です。青葉区歯科医師会入会后より委員として公衆衛生委員会に携わってきました。本事業部は、6月の歯と口の健康週間での無料歯科健診、11月の青葉区民祭での歯科体験コーナー、12月の口腔がん検診、等区民へ向けた対外的な啓発事業を多く行ってきた部署でした。

昨年より続くコロナ禍にて事業の延期中止を余儀なくされ、新たな事業のあり方を模索する必要性を求められています。これまでは一委員会として事業に携わってきた程度で、事情を把握し切れていない点多々ありますので、執行部の皆様、そして会員の皆様からの御指導、御鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

また会員の皆様には今後、本事業への御協力をお願いすることも多々ある事と思います。その節は、お力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

広報理事

深田 健二



この度、二期目の広報理事に就任しました深田健二です。前回就任して以来、広報理事の業務内容に慣れてきた昨年の春頃から、コロナ禍のために様々な歯科医師会の活動が制限される状況がずっと続いています。

そんな折ですので会員の先生方にWEBをしっかりと活用していただくべく、青葉区歯科医師会HPの会員向けページによる情報発信の充実、オンラインセミナーなどの掲載を行ってまいりました。また青葉区歯科医師会の公式LINEアカウントを立ち上げましたので、登録がまだの先生方はぜひ登録していただきたく思います。

この公式LINEアカウントの特徴は、チャット機能はございませんがホームページの会員向けページに直接アクセスできますので、情報収集の場としてまた利便性の向上としてご利用いただければ幸いです。会員の先生方には広報活動の一環として原稿執筆などご協力をいただくこともあると存じますが重ねてお願い申し上げます。

地域医療理事

坂下 友也



今年度、鳥居新会長地域医療部の元、地域医療理事に就任いたしました、3期目の坂下でございます。

地域医療部では、多職種連携を含め、かかりつけ歯科医機能向上のための医科歯科連携事業を行っております。また、通院困難な在宅療養中の区民のための訪問歯科診療事業も青葉区在宅歯科地域連携室とタックを組み合わせながら、今後、発展していきだろうMCS（Medical Care Station）への取組みも進展できればと思っております。ご協力の程、宜しくお願い致します。

地域医療理事

今村 圭一郎



この度、鳥居会長より任命され、二期目の地域医療理事に再任した今村です。二期目とはいえ、まだまだ力不足でご迷惑をおかけすることのほうが多いと思いますが少しでも青葉区歯科医師会のお役に立てるように、諸先輩方の背中を追いかけて尽力いたしますのでよろしくお願いいたします。

令和3年度はコロナウイルスに翻弄され地域活動がかなり制限された年となりました。しかし、そのような中でもweb会議等を使用し行政・多職種の方々と会議なども執り行われ地域活動もウィズコロナの時代となりました。

今期も様々な他職種・行政・医師会・薬剤師会の方々と歯科医師会が協力して円滑に地域貢献できるようにアイデアを出しあっていきたいと思います。今後ともより一層のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

税務・医療管理理事

田中 綾



この度、鳥居新会長の下、3期目の税務・医療管理理事に留任いたしました田中 綾です。

前期は新型コロナ関連の対応を主にさせて頂きましたが、今期は以前のように会員の皆様の交流を図る納涼会の開催や、講演会の開催も zoom など駆使し、共に税務・医療管理理事就任された村田理事のお力をお借りしながら行っていきたいと思っております。

たくさんの先生方にご参加頂けますような行事を開催するように尽力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

税務・医療管理理事

村田 拓也



鳥居新会長から税務・医療管理理事を拝命いたしました村田拓也です。

ここ何年かは神奈川県歯科医師会理事として主に災害・広報・青年部・総務関連の仕事をさせていただきました。県歯での経験を青葉区歯科医師会で発揮できたと思います。

税務医療管理委員会には入会時（20 年位前になります）に、2 年程在籍し現在のデンタルショーのお手伝いをしました。田中綾理事に迷惑をかけないように仕事をしていきたいと思います。また最近のコロナ禍で各委員会に青葉区歯科医師会らしさが消えているように感じています。なんとか、また元気モリモリ18地区ナンバーワン青葉区歯科医師会になるように微力ながらお手伝いが出来たらと思います。会員の皆様ご指導の程よろしくお願い致します。

学校歯科理事

高橋 真朗



鳥居会長の下、今期も引き続き学校歯科理事を担当する事となりました高橋です。校医になって未だ日が浅く、不慣れな点多々ございますが微力ながら会員と学校保健の橋渡し役を務めたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

この一年はコロナ禍のため、学校歯科に関連する各事業、会議も中止、延期、またはオンラインでのやり取りと、通常と異なる体制になり戸惑うことが多かった年でした。

校医の先生方に於かれましても、健診を行うにあたり学校側との細かい調整、打ち合わせ、また実際の健診時には様々な感染予防対策など御苦労が多かった事と思います。感染終息までにはまだまだ気を使う事項が多くございますがどうか宜しくお願いいたします。

また、最近の健診の流れでは、児童の齲蝕・歯周病の発見のみならず、健全な口腔機能育成への誘導が大切となっております。健診での指摘をうけ、子供たちがかかりつけ医の先生方をいろいろな事由で受診する事も多くなると思われますが、会員の先生方の御協力も引き続き宜しくお願いいたします。

救急医療理事

新妻 泰典



この度 救急医療委員会の理事を拝命しました新妻と申します。昨今、南海トラフ沖地震の到来など噂されております。もちろんそう言う事がない方がいいと思いますがもしもに備えておきたいと思っております。

青葉区で地震による被害が大きい際に、救急医療を行うとのことですがあまり周知されていないと思います。歯科医師としての責務について 周知出来る様にしたいと思います。青葉区 12 拠点の学校で トリアージなどを対応できるようにする必要があるようです。

そこで、学校歯科医にもご協力頂き医師会と連携して行っていきたいと思います警察歯科医、特別警察歯科医も担当委員となりまして有事の際には検死等よろしくお願い致します。全く携わる事のなかった委員会ですが多くの方に知って頂けるよう努力していく所存です。 よろしくお願いします。

連盟理事

下山 和夫



山本執行部の途中より連盟理事を拝命し、この度鳥居浩一郎会長より再度連盟理事を拝命いたしました、下山和夫です。横浜市歯科医師連盟では常務理事を務めています。

政治には比較的疎い人間ですが、与えられた仕事を精一杯努めたいと思います。

今年（令和３年）は衆議院議員の選挙があり、来年には参議院議員の選挙があります。

多くの会員は、あまり政治に興味を持つことは無いかもしれませんが、しかし医療制度には政治は不可欠です。私たちの仕事に直結する点数改正も政治によって決まっていきます。

各先生方の主義主張は多様かとは存じますが、しかし歯科医療を担っているという我々の職域を守るためにも選挙の年の２年間、ご協力の程よろしくお願い致します。

監事

久保田 正



藤尾会長、下山会長、山本会長のもと６年間監事職を務めさせていただきました、これで最後と思いましたが、会の諸事情もあり、また新しい世代の鳥居会長の新しい会運営もみとけたく、もう１期だけ監事をお受けしました。

会員の諸先生方のご協力、ご支援をいただき、職責を果たしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

監事

藤尾 昭



今回、監事に再選されました。本会は、旧緑区より分区し、増田初代会長以下、吉川、福本、堀口、佐氏、北野、久保田、藤尾、下山、山本、歴代会長が、事務方荒井さんの手助けのもと、自由、自治を礎に活達な会活動を行ってきました。

時代の潮は、中国・武漢初発の COVIT19 が荒れ狂い、幻想の2年余りを経ましたが、悪魔の呪詛を何かせんと、儉安宿し、れい旗繽紛の世の中に、会の活動と、泓衛生士、小幡事務方の協力による連携室運営により、星晨を示すべく、横浜市歯科医師会の一支部として、新たに選任された鳥居新会長のもと、業務を全うする所存です。

退任挨拶

前 会長

山本 昭二



令和元年7月より令和3年6月まで青葉区歯科医師会会長を務めさせていただいた山本です。

青葉区歯科医師会の会長という大役を仰せつかったの2年間、歯科医師会の執行部の理事の先生とともに会の運営をしてまいりましたが、副会長、専務をはじめ各理事の先生方に私自身の至らないところを助けてもらい感謝しております、ありがとうございました。

令和元年7月より昨年の一月末ぐらいまでは各委員会の事業が、順調に進み、会務もそれなりにこなすことが出来たと思っておりました。ところが昨年2月中頃より新型コロナウイルスの感染拡大により会務または会そのものを揺るがすような事態になりました。一昨年の2月の後半より昨年度の事業はほとんど中止か延期に追い込まれてしまいました。会務もままならないという状態になってしまいました。まさにどう会務を進めていくのか模索するのすら分からなくなっていきそうでした。

そんな中でも、三役理事の先生方といろいろな話し合いをする中で出てきたのは、一昨年度に限り会費をゼロ円にするという事でした。しかし会費を集めないのでは会務の運営出来ないなどという事はできません。会計担当の理事にいろいろ試算して会の運営・執行ができるにはどのくらいの金額が必要なのか、調べてもらいました。しかし、どうしても少し資金が足りませんでした。そこで青葉区歯科医師会の資産である特別会計から少し使わせていただくという事になりました。

今まで先人の先生方により脈々と培われてきた青葉区歯科医師の大切な資産を使わせていただくことには、大きな抵抗感がありましたがありがたく感謝しつつ使わせて頂きました。そして昨年度は、ワクチンも順調に各地域に行き渡るようになってきて、コロナもわずかながら収束の兆しが見えてきたこともあり、青葉区歯科医師会の会費は集めることにしました。しかしながら、昨年度の事業も春の衛生週間行事など中止になってしまうものもありました。そんな中でも、講演会・研修会事業など従来はでは会場でのみ行われていたものが、zoomを使い開催することができるようになりました。

初めはトライ＆エラーの連続でした。理事の先生方や若い青葉区歯科医師の先生方のお力をお借りして何とか形を作っていました。これは、横歯や県歯や他地区でも同じような流れです。講演会・研修会だけでなく、各委員会会議などウェブを使いハイブリッドで行うという、これからの歯科医師会のスタンダードとなるかもしれません。新しい形態の歯科医師会が生まれてくるかもしれません。歯科医師会は、もしかしたらターニングポイントを迎えているかもしれません。そうはいても、青葉区歯科医師会は、会員のための会です。

会員の先生方の協力なしには、何も進みません。会員の先生方、各委員会の先生方、理事の先生方に協力をいただいて、はじめて会は進んでゆくものだと思います。

これから新執行部が、いろいろと事業を展開されることと思います。会員の先生方のお力をお借りし会務を邁進していただきたいと思います。新型コロナが一日でも早く収束すること、そして青葉区歯科医師会の事業会務が、滞りなく進むことを願って、私の退任の挨拶とさせていただきます

前 副会長

鈴木 俊和



この度は下山会長及び山本会長の下で4年間副会長の職を務めさせていただきました。最初の2年間は何もわからないまま引き受けたものの副会長とは名ばかりで鳥居専務にご指導を受けながら職務を務めてまいりました。その為下山会長に負担をかけてしまい心苦しい限りでした。山本会長の時はCOVID19(コロナ感染)に見舞われ、マスク、消毒アルコール、ガウンの配布など感染対策に追われ青葉区行政との会合、フェスティバル、講演会、新年会、納涼デンタルショー、旅行などが軒並み中止か延期になり歯科医師会の事業がほとんど無くなりました。また理事会、総会と規約にない新しい試みを背負わざるをえなくなり大変苦労した2年間になりました。

山本会長が体調を崩した時は本来副会長が代行しなければならない大事な時に今まで体には自信があった私自身が大きな病気になり理事の先生各位にご迷惑をかける事になりました。会員の皆様にもご協力をいただいておりますが何もできずに申し訳ありませんでした。4年間ありがとうございました。これからは微力ながら一会員として会の発展に協力したいと思います。

前 庶務理事

小笠原 聡



この度、2年間と短い任期でしたが庶務理事を退任いたしました。すべてが初めてのことでしたが、前庶務理事の先生方の協力や、役員の先生方の協力により、菅原庶務理事と協力してなんとかやり遂げた2年間だったと思います。

令和2年の青葉区歯科医師会の新年会の後からコロナで世の中が激変していききました我々の仕事と同様に、青葉区歯科医師会の活動も歩みを止めることはないんだということを実感した期間でもありました。

この2年間で、各役員の先生方の青葉区歯科医師会へのご尽力を目の当たりにしてこれまで何も知らず、あまり会の活動に協力もしてこなかった過去の自分を恥じました。諸事情により退任いたしますが、今後も可能なかぎり会の活動に参加、協力していけたらと思っています。

最後に、色々ご指導、ご助言頂き、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

前 庶務理事

菅 原 孝



庶務理事を務めさせていただきました菅原です。1期2年の短い間ではございましたが、コロナ禍における新しい試みにも加担することができ、大変充実した任務期間をすごさせていただきました。支えていただきました諸先生方に感謝です。

また神奈川県歯科医師会の委員は今期も引き続き努めさせていただきます。青葉区会員の先生方に少しでも力になれるよう頑張りますので今後ともご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

前 厚生理事

日野 容碩



この度、2年間の厚生理事を退任することとなりました。理事として最初の新年会を無事終え、いよいよ2年に一度の大企画、支部旅行です。今回は青葉区歯科医師会初めての京都旅行、会員の皆様、執行部の先生方のご協力のおかげで予算も多く頂き、多くの期待も寄せられていたのですが、あいにくのコロナ渦に飲み込まれた形で延期、最終的には残念ながら中止に追い込まれてしまいました。だれも予想しなかった世界規模のパンデミックの影響でその後の厚生事業はほぼ休止状態となり、理事としては何もしないまま任期を終える形になりました。

未熟な理事を支えてくださった会員、執行部、委員の皆様にお礼申し上げます。平常が戻り、新理事の元、又厚生事業が再開できればと期待しています。

前 公衆衛生理事

近藤 隆俊



この度、公衆衛生理事を退任した近藤です。任期中は下山会長と山本会長のもと、三役・理事の先生方をはじめ、会員の先生方には多大なるお力添えをいただき感謝いたします。私以前の歴代理事は非常に優秀な先生方ばかりで、私では到底力不足の為に務めることが難しいと一度はお断りした過去もあり、至らなかった点多々あり、ご迷惑をおかけしたかと思いますが、皆様からの温かいサポートを受けて何とか無事に任期を終えることができましたことを、心より御礼申し上げます。

コロナ禍でいろいろな事業が中止となる中、代わりにできることを模索しながらやってきました。次期理事の前田先生と中野先生もこのような状況下で大変ですが、優秀な2人なので期待しています。私も一委員として公衆衛生委員会延いては青葉区歯科医師会を盛り立てられるよう、微力ながら頑張っていこうと思いますのでよろしくお願いいたします。

公衆衛生事業は会員の先生方のご協力無くては成り立ちません。これまでのご協力に感謝しますとともに、今後ともご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

前 救急医療理事

瓦田 全



この6月で2年間の任期を終え、救急医療理事を退任することとなりました。大学の先輩から「先生にはぜひ救急医療の理事をお願いしたいのです」とのゴリ押しの電話。不慣れな部門での理事職でしたが、あっという間に過ぎました。いざ退任してみると。名残惜しい気持ちがあるような気もするが、、絶対に気のせいだ！（笑）と、思う。実務と委員会の名称とのギャップに驚きながらも、防災訓練や災害時地域医療検討委員会に参加させていただいたり、青葉警察署との協議等々、横の繋がりが出てきて様々な情報を得ることができた。それらの情報をどのように

会員へ伝えるか？といつも考えていた。

そんな中、昨年から新型コロナのパンデミック。様々な事業が中止。それでも、青葉区災害時地域医療検討委員会では、コロナ禍においての防災訓練をでは模索し、Webでのトリアージ訓練等、成功させている。皆様、普段からの訓練、大切です。ぜひ参加しましょう。

長いようで短い2年間でしたが、ありがとうございました。